

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	1
多機能事業所ループ	11
生活介護事業所ループ歩	15
多機能事業所ループ奏	18
放課後等デイサービス事業所あざみ	21
日中一時支援事業所あるば	24
はまきた地域活動支援センター	26
浜松市障害者相談支援事業所ぼるた	28
特定相談支援事業所ぼるた	30
事業報告書の付属明細書	32

令和元年度 みどりの樹事業報告（法人本部）

はじめに（1 年を振り返って）

みどりの樹にとって、この1年での大きな出来事は、多機能事業所ループ奏として、生活介護事業（るるる 定員10人）、就労継続支援B型事業（ららら 定員10人）の事業所を開設したことだと思います。

実際に、令和1年10月1日に開所し、スタート時点ですでに2事業合わせて11人の方に利用していただき、特に特別支援学校3年生の進路先として、4月には定員を満了すほごご利用の希望をいただいております。当法人サービスを選択していただけることに喜びを感じると同時に、ここ数年来危惧されていたこの地域全体が上記2事業に空きがないことを実感させられる結果でもありました。開所したこと自体には大きな意義を感じますが、そもそものこの課題解決については、受け入れを増やしていくことだけではなく、もっと抜本的な対策が必要であることを感じています。

（理事長 山下勝康）

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

「みんなが生き生きと暮す街に」という基本理念、「スマイル&ネバーギブアップ」という行動指針ともに、その言葉を職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、写真を差し込むなどしてポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示しました。

理念と行動指針の浸透に向けては、昨年度より制度導入をした人事考課制度の中で職員ごと認識できているか評価する項目を設け、意識づけにつなげています。

II 令和1年度基本方針【「YES, WE CAN!」】総括

令和元年度（平成31年度）をチャレンジの1年と位置づけ、新事業所の立ち上げも含めて新しい発想や取り組みを行っていきました。特に委員会活動が活発になり、いくつかの成果をあげることができています。ホームページのリニューアルや、自主製品の販売ツールの一新、統一化、または書類保管期限の整理などは、法人内事業所の垣根を越えて全体で考える意識で取り組めたと思います。

今まで、それぞれの作業所時代からの「風習」として取り扱ってきた手続きを、法人として統一のルールを作りそれに基づいて取り組んでいくという雰囲気を作れたことは、大きな成果であると考えます。

III 重点取組について

1 ITの積極的活用も含めた業務の効率化

支援の付带的業務を効率的にするために、業務の棚卸を企画しました。職員それぞれが1日の自身の業務内容、動きを細かに記録し、緊急度や重要度、または難易度などに仕分けていける仕組みを作りました。令和元年度については、一部の事業所のみの実施に留まり、検証や改善策の打ち出しまでつなげることができませんでした。次年度以降全所で実施し、検証を進めていきたいと思えます。

一方で、管理者にモバイルパソコンを貸与し、個別のメールアドレスも取得しました。このことで、現場担当者等が自分のタイミングでパソコン作業に従事でき、また管理者固有の情報共有もスムーズになり効率化につなげることができたと考えます。

2 リスクマネジメント体制の強化

コンプライアンス委員会を立ち上げ、各種職場内ハラスメントや不適切ケア等の防止に向けて「コンプライアンス・ほっとライン」を設置し、内部通報のシステムとして整えました。

また、マニュアル作成委員会では、様々な情報を集約し法人としての書類保存期間の内規をまとめました。次年度以降これに基づき書類管理を行い、内容を精査して処分あるいはデータ化を進めることで、ペーパーレス化にもつなげていきたいと考えています。

3 職員の資質向上

人事考課制度に基づいた職員評価、特に個別の目標設定と評価フィードバックの面談は丁寧におこないました。また、みどりの樹のキャリアパスの要件等と、人事考課の運動の説明を令和2年3月の法人全体会議で改めて説明し、次年度以降の目標設定や将来ビジョンについて、より具体的にイメージできるよう準備していましたが、新型コロナウイルスの影響で会議を中止しました。状況を見て説明の機会を作っていくと考えています。

4 新事業所の開設に向けて

当初の計画通り、令和元年10月1日に多機能事業所ループ奏（生活介護 10名、就労継続支援B型 10名）を開所いたしました。生産活動については、静岡県立天竜高等学校の購買部をループ奏が中心になって担っていくことになり、既存の弁当やパンを中心に毎日販売に出かけるようになりました。ループ奏としてオリジナリティ溢れる作業活動でもあり、また法人の事業所内連携を意識して協力し合って取り組む良いきっかけにもなっています。

IV 利用者実績

事業名	定員	R1年度目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援	6	4.0	2.4	60%	39.8%
就労継続B型 (ライム・なないろカフェ)	20	24.0	22.6	94.2%	113.0%
自立訓練(生活訓練)	10	7.5	6.1	81.3%	61.4%

生活介護（さつき）	18	21.0	17.9	85.7%	99.4%
生活介護（まつぼっくり）	12	10.5	10.8	103.8%	90.8%
生活介護（るるる）	10	5.0	5.9	118.0%	59.0%
就労継続 B 型(ららら)	10	5.0	4.6	92.0%	46.0%
放課後等デイサービス	10	12.0	10.5	87.3%	104.7%
日中一時支援	7	5.0	3.5	69.3%	49.2%
地域活動支援センター	(20)	14.0	12.1	86.4%	—
特定相談	—	37.0	27.3	73.9%	—

V 職員体制

() 内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ			生活介護事業所ループ		多機能事業所ループ	
	就労移行	継続 B 型	自立訓練	さつき	まつぼっくり	るるる	ららら
管理者	1 (1)			1 (1)		1 (1)	
サービス管理責任者	1 (1)			1 (1)		1 (1)	
就労支援員	1(1)	1(1)	1(1)	—	—		
職業指導員	1.5(1.1)	1.5(1.1)	1.5(1.1)	—	—		
生活支援員			1.3(1.2)	6.8(3.6)	2.2(1.8)	3.0(1.2)	1.6(0.6)
訪問支援員	—	—	—	—	—		
目標工賃達成指導員	—	—	—	—	—		1 (1)
合計	2.5(2.1)	2.5(2.1)	2.5(2.1)			3.0(1.2)	2.6(2.6)

	放課後デイ
管理者（兼務）	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員	5.2 (2)

	地域活動
管理者（兼務）	1 (1)
活動支援員（機能強化）	1 (1)
活動支援員（基礎事業）	2 (2)

	委託相談
管理者(兼務)	1 (1)
相談員	1.5 (1.5)

	あるば
管理者(兼務)	1 (1)
支援員	2

	特定相談
管理者（兼務）	1 (1)
相談支援専門員	1 (1)

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

単位：千円(以下切り捨て)

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	240,150 (224,558)	226,077 (218,210)	14,072 (6,348)
施設整備等による収支	66,910 (66,000)	81,830 (75,829)	△14,920 (△9,829)
その他の活動による収支	106 (0)	428 (425)	△322 (△425)
当期資金収支差額	—	—	△1,158 (△4,105)

() 内は、令和元年度当初予算

2 資産・負債の推移

単位：千円

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	30・元年度対比
流動資産	115,733	110,732	111,381	649
固定資産	251,873	244,577	303,756	59,209
資産合計	367,606	355,309	415,167	59,858
流動負債	27,742	25,506	29,699	4,192
固定負債	132,378	122,876	176,943	54,067
負債合計	160,120	148,383	206,642	58,259
純資産	207,485	206,926	208,524	1,598

VII 寄付金の状況

計 9 件 2,370,191 円

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日受け付け分)

※すべて、理事長決裁で頂戴いたしました

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額（円）	詳細	財源
ループ歩	修繕	1,608,000	まつぼっくり外壁塗装工事	寄付金
	修繕	292,000	まつぼっくり洗面台修理	寄付金
ループ奏	施設整備	70,476,506	建物建築及び外構工事	銀行借入金
本部拠点	固定資産	238,248	本部事務所システム書棚一式	自己資金
ループ	修繕	118,800	ライム作業棟床補強主膳	自己資金

IX 借入金及び借入金償還実績

単位：円

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	853,237	0	86,526,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	4,134,000	763,990	782,000	33,376,000	
静岡銀行	0	196,662	0	66,000,000	ループ奏建物新築工事

※利息補給は、NPO 法人活木活木森ネットワーク「木造公共建築物の整備資金等の借り入れに係る利子助成事業」によるもの

※ループ奏の借入金についての元金償還は、令和2年9月より

X 生産活動

	実績値（円）	計画値（円）	目標達成率
弁当	18,263,042	15,000,000	121.8%
喫茶（なないろカフェ）	5,511,142	4,800,000	114.8%
下請け	4,997,414	5,200,000	96.1%
ループ計	28,771,598	25,000,000	115.1%
さつき下請け	1,489,052	1,190,000	125.1%
クッキー（さつき）	1,293,115	1,200,000	107.7%
パン・クッキー（まつぼっくり）	5,899,925	4,600,000	128.2%
樹脂粘土他	12,000	10,000	120.0%
ループ歩計	8,694,092	7,000,000	124.2%
下請け	1,057,713	550,000	192.3%
天竜高校	1,426,448	0	%
ループ奏計	2,446,540	550,000	444.8%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容
5月30日(木) 第1回理事会 (定時理事会)	<p>議決事項 1、平成30年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、評議員会付議事項 3、次期、理事・監事の候補者選定</p> <p>報告事項 1、理事長業務執行報告 2、社会福祉充実残額について 3、施設整備進捗報告</p>
6月14日(金) 第2回理事会 (臨時理事会)	<p>議決事項 1、理事長の選定 2、業務執行理事の選定</p> <p>報告事項 1、令和元年度第1回評議員会報告</p>
7月9日(火) 第3回理事会 (書面手続き)	<p>議決事項 1、社会福祉法人天竜厚生会と共同事業体協定を締結することについて</p>
11月26日(火) 第4回理事会 (定時理事会)	<p>議決事項 1、令和元年度1次補正予算 2、定款変更 3、評議員会付議事項 4、評議員の候補者選定 5、就業規則変更 6、経理規程変更</p> <p>報告事項 1、理事長業務執行報告 2、浜松市実地指導報告 3、監事監査報告</p>
3月19日(木) 第5回理事会 (定時理事会)	<p>議決事項 1、令和元年度2次補正予算 2、令和2年度事業計画 3、令和2年度当初予算 4、評議員会付議事項</p> <p>報告事項 1、浜松市実地指導報告 2、定款変更について 3、評議員選任解任委員会結果報告</p>
3月31日(火) 第6回理事会 (書面手続き)	<p>議決事項 1、管理者の人事異動</p>

2 評議員会の開催

日時・回	内容
6月14日(金) 第1回評議員会	<p>議決事項 1、平成30年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事・監事の選任</p> <p>報告事項 1、理事会報告 2、社会福祉充実残額の計算結果 3、施設整備進捗報告</p>
12月10日(火) 第2回評議員会	<p>議決事項 1、定款変更について</p> <p>報告事項 1、上半期報告 2、規程の変更 3、評議員選任の進捗報告(増員分)</p>
3月予定分	新型コロナウイルスの影響を鑑みて、中止

3 評議員選任・解任委員会

日時	内容
2月17日(月)	議決事項 1、西村恭一氏の選任について 2、金田祥史氏の選任について 3、伊藤俊江氏の選任について

4 管理者会議

日時・回	内容
4月26日(金) 第1回	1、相談支援初任者研修受講生選定 2、人事考課 3、HP用写真撮影の協力 4、ループ奏について 5、領収書・封筒のリニューアルについて 6、人事・採用スケジュール
5月22日(水) 第2回	1、ループ奏施設整備進捗報告 2、人事考課 3、パソコン導入の件 4、人事 5、評議員の選任について 6、委員会活動日程調整
6月3日(月) 第3回	1、職員について 2、ループ奏上棟式について
7月8日(月) 第4回	1、10月からの人員配置 2、ループ奏施設整備進捗報告 3、7月内部勉強会について 4、委託相談再編進捗報告 5、業務棚卸について 6、協力医・健康診断について
8月5日(月) 第5回	1、品質成分表示について 2、パソコンの入れ替え 3、機密文書処分方法 4、ループ奏竣工式について 5、職員交流 BBQ について
9月2日(月) 第6回	1、次年度人員体制 2、ループ奏施設整備進捗報告 3、職員交流 BBQ について 4、特定処遇改善加算申請 5、11月理事会スケジュール
10月7日(月) 第7回	1、年末調整について 2、ループ奏進捗報告 3、次年度人事 4、人事考課 5、業務棚卸について 6 内部通報システムの稼働について
11月5日(火) 第8回	1、一次補正予算 2、新卒採用面接 3、次年度に向けて 4、事業所フェアについて 5、次年度イベント
12月6日(月) 第9回	1、次年度に向けて 2、欠席時対応加算について 3、内部通報システム運用について 4、法人内販売内規 5、救命救急講習 6、感染症対応マニュアルについて
1月6日(月) 第10回	1、理事会スケジュール 2、入退職状況 3、次年度体制について 4 照個屋 5、ぼるた電話当番手当について
2月3日(月) 第11回	1、次年度人員体制 2、委員会再編 3、次年度事業計画書作成について 4、パートタイマー交通費支給 5、未来トーク 学習支援対応について
3月2日(月) 第12回	1、二次補正予算 2、新型コロナウイルス対策 3、有給休暇申請、時間外勤務管理 4、3月運営会議

5 運営会議

日時・回	内容
4月27日(土) 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、天竜高校購買部 4、起案書、購買稟議書の取り扱い 5、IT化推進について 6、GWスケジュール 7、委員会開催日 8、自動車保険
5月29日(水) 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、パソコン台数確認 (Win7 使用状況) 4、ループ奏進捗報告
6月26日(水) 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、わの表彰者 4、役員再任報告 5、HPブログについて 6、のぼり旗管理 7、ボランティア保険 8、名刺リニューアル
7月24日(水) 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、インフルエンザ予防接種 4、聖灯祭出店について 5、ボランティア保険 6、主任者研修について
8月28日(水) 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人事考課 4、委託相談再編進捗 5、送迎 6、ボランティア謝礼 7、聖灯祭体制 8、名刺リニューアル
9月25日(水) 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、ループ奏進捗報告 4、機密文書処理 5、けやき祭出店について
10月23日(水) 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、事業所フェア 4、照個屋 5、実地指導報告 (ループ、ループ歩) 6、収穫祭
11月27日(水) 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、理事会報告 4、領収書リニューアル 5、主任者研修について 6、あくしす感謝祭協賛
12月25日(水) 第9回	1、月次報告 2、委員会報告 3、法人内取引内規 4、つうしん部数 5、照個屋 6、染地台事件について
1月23日(水) 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人事考課 4、次年度事業計画について 5、みらいトーク学習支援協力について
2月26日(水) 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度委員会編成 4、次月運営会議について 5、ヒヤリハット 6、防災倉庫 7、新型コロナウイルス対策
3月25日(水) 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナウイルス対策 4、あくしす合同企画 5、イエローレシート 4、支える会

6 法人全体会議

日時・回	内容
6月12日(水) 第1回	1、理事会報告 2、ループ奏進捗報告 3、クリスマス会について
12月3日(火) 第2回	1、理事会報告 2、つうしん原稿について (広報委員会) 3、コンプライアンスほっとラインについて (コンプライアンス委員会) 4、就業規則読み合わせ
3月25日(水) 第3回	※新型コロナウイルス感染拡大予防のため縮小 (事業計画書を説明を添えて職員に配布)

XII 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
防災	6/21、7/19、8/9、9/25、10/18、11/7、 12/20、1/24、2/21、3/26	・地震マニュアル・災害時備蓄食料の見直し ・地震、風水害訓練報告、改善点について
コンプライアンス	6/18、7/16、8/20、9/18、10/21、11/18 12/16、1/22、2/17、3/16	・コンプライアンス・ほっとラインの設置 ・事故報告書とヒヤリハット報告の書式見直し
マニュアル作成	6/14、7/17、8/9、9/13、10/30、11/8 12/6、1/10、2/14、3/13、4/10	・感染症対応マニュアル作成 ・書類保存に関する内規案作成
研修	6/4、7/2、8/6、10/1、11/5、12/3、1/7、 2/4、3/3、4/7	委員会 ・研修の企画・準備
	2/22	職員全体内部研修（あくしす合同開催）
	10/23	主任者研修（あくしす合同開催）
	7/16、8/20、9/17、10/15、11/19、12/17 1/21	小研修（グループごとにテーマ設定し、 企画・運営 ※任意参加）
広報	6/20、7/18、8/8、9/18、10/17、11/21、 12/16、1/15、2/20、3/25	・みどりの樹つうしん編集業務 ・ホームページリニューアル版作成、管理 ・パネル展示用パッケージ検討
おすそわけP企画	5/14、6/5、7/3、8/7、9/4、10/2、11/6、 12/11、1/18、2/6、3/4、4/8	・地域における公益的な取組を検討・実行 ・地域と寄り添う活動方法の検討・実行
福利厚生	7/5、7/22、8/26、9/17、10/29、11/25 12/20、1/21、2/12、3/17、4/13	・救命講習開催（法人職員全体対象） ・職員交流企画・実施（BBQ大会）
製品品質向上	5/17、6/19、7/10、8/21、9/17、10/23、 11/13、12/19、1/22、2/19、3/4、3/16、4/16	・食品表示ラベル検討・作成 ・イベント販売什器検討・購入

XIII 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
平成30年度決算監査	令和元年5月17日 (指摘事項なし)	会計監査：山崎陽司 業務監査：遠山秀敏
令和元年度定期監査	令和元年10月27日 (指摘事項なし)	事業計画進捗、定款及び諸規程 業務監査：山崎陽司

XIV 地域における公益的取り組み

地域の皆さんと共に楽しみ、互いに元気になれるよう2つの企画に取り組みました。

令和1年9月には新拠点である多機能事業所ループ奏でみどりの樹ミュージアムを、また令和2年2月11日には昨

年に引き続き『照個屋』を開催しました。近隣の皆さんの力をお借りし地域とともに活動する企画を実行することができました。その反面、公益的な取り組みを検討する中で、地域に根ざし地域のニーズを見出すことの難しさを実感し、今年度の反省を含め、今後の課題として来年度も取り組んでいきたいと思ひます。

XV 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

4月24日	支援者の対応について（ご本人より）	4月25日 解決済	はまきた地域活動支援センター
6月21日	事業所のルール等について（ご本人より）	6月24日 解決済	多機能事業所ループ

2 ヒヤリハット報告

利用者の安全確保に関すること	83件		
利用者間トラブルに関すること	20件		
利用者へのかかわり方に関すること	54件		
支援者の安全、健康に関すること	5件		
利用者家族とのかかわりに関すること	15件		
自動車運転に関すること	14件		
設備、備品等に関すること	22件		
運営管理、事務に関すること	34件		
生産活動に関すること	77件		
施設外他者とのかかわりに関すること	14件		
その他	29件	計	367件

3 事故報告

4月3日	自動車接触事故（対縁石）	ループ
4月8日	自動車接触事故（対原付）	ループ歩
5月30日	支援者支援中の転倒	あざみ
6月5日	自動車接触事故（対縁石）	ループ歩
7月4日	利用者の転倒	ループ歩
9月3日	利用者のけが	ループ歩
9月21日	自動車接触事故（事業所壁面）	ループ
10月10日	自動車接触事故（対縁石）	ループ
10月24日	自動車接触事故（事業所駐車場内）	ループ歩
10月31日	自動車転倒事故	あざみ
11月20日	自動車接触事故（対縁石）	ループ
2月17日	利用者のけが	ループ歩

令和元年度 多機能事業所ループ 事業報告

I 総括

稼働については、就労継続 B 型昨年度とほぼ同様の稼働率で、就労移行支援と自立訓練では前年度を下回る稼働率で 1 年を過ごしました。就労移行支援では、就職に結びついたケースはありませんでしたが、既就職者の定着支援、離職支援を丁寧に行いました。就労継続支援 B 型は、安定した生産活動が行えました。自立訓練(生活訓練)では、様々な背景のある方々にかかわらせていただくことを通して、支援の方法について考えるきっかけを多くいただいた 1 年となりました。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

① ライム（就労移行）

重点目標

それぞれにあったはたらき方、就労先を一緒に考えていけるよう、日々のかかわりやアセスメント、定期面談を丁寧に行っていきます。また、昨年度に引き続き、特化プログラム SSP を実施し、自分らしいはたらき方・はたらく場所を見つけられるよう、職場や他事業所の見学・体験を効果的に行っていきます。他に、就労後も自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローにも力を入れていきます。

振り返り

一般就職に結びついたケースはありませんでしたが、就労継続支援 B 型に 1 名、生活介護に 1 名の方が移行されました。利用される方々が今後どのような進路に進みたいのか、何をを目指したいのかなどについて定期面談や見学、実習を通して一緒に考えました。既就職者のフォローアップでは、引き続き職場訪問や電話での相談・調整を通して、ご本人とも企業とも丁寧にかかわりを大切にしました。また、就職して 4 年の経過した方の離職にも関わらせていただきました。ご本人のこれからについて、次年度は一緒に考えていきます。SSP では、グループワークや企業見学、合同面接会、実習などを通して、就職には至らなかったものの、それぞれのペースで前に進んでいってほしいと感じることのできる 1 年となりました。

② ライム（就労継続支援 B 型）

重点目標

30 年度に導入した『皆勤賞』を継続し、さまざまな想いや目標をもつ利用者が、発揮したことや達成したことなどを共有し、認め合うことを通して、はたらく意欲や喜びを実感できるように努めます。また、利用者が『私の計画書』として実感できるような支援計画書になるようフォーマットを検討していきます。

振り返り

今年度も定員以上の利用がありました。昨年度から導入した「皆勤手当」については、モチベーションとなっている方がいる反面、関心のない方もいらっしゃり、利用されるみなさんの成果やがんばりをどのような形で示していくかが課題として浮かび上がりました。生産活動について、下請け作業では、新しく立ち上げたループ奏に一部の作業を移行し、さまざまなキャパシティをふまえた作業量の調整を図りました。併当事業では、既存の顧客を中心に安定した受注量を確保することができ、売上は好調でした。

た。併当事業にかかわる利用者も増え、今後も利用者の活躍できる場をさらに増やしていきたいと考えています。『私の計画書』については完成に至りませんでした。次年度も引き続き取り組み完成を目指しながら、利用される皆さんがどんな思いで通い、どんなことをやりたいと考えているのかなどについてより考えを深めながら、それらを盛り込めるものにしていきます。

③ なないろカフェ（就労継続支援 B 型）

重点目標

- ・ひとりひとりがなないろカフェで輝けるよう、それぞれにあわせた支援を行います。少人数のよさを生かし、それぞれの力が発揮できる場を作ります。
- ・昨年度から始めた情報提供ツール等を生かし、さらなる集客アップを目指します。
- ・アイドルタイムに、学生やボランティアによるイベント等を開催し、地域交流の場を作ることで、地域における社会福祉法人の役割の一端を担います。

振り返り

職員会議の場を活用し、利用者の様子や支援の方法についても話し合うよう努めました。特に今年度は、ライフステージの変化に伴う不安や不調がみられる方が多く、なないろカフェでどんな支援ができるかについて検討してきました。その中で、家族はもちろん家族以外とのつながりも大事だと気付かせていただきました。

昨年度から始めた Instagram については、新商品の入荷やイベントのお知らせなどに利用してきましたが、1～2 回/月の更新と更新頻度が少なかつたため、今後はより積極的に活用していきたいと考えています。学生やボランティアさんの協力をいただいてのイベントの開催については、年度当初はアイドルタイムの時間を使って開催したいと考えていましたが、検討の結果、土曜日開催の方が人を呼び込めるのではないかと考え、開催を土曜日に変更しました。イベントの告知については、ブログや Instagram を利用する、チラシを学童や施設等に配布するなどし、多くの方に参加していただき無事開催することができました。来年度も引き続き地域の方に協力していただきながらイベントを開催していきたいと考えています。

店舗営業について、4 月から天竜高校購買部の活動がスタートしサンドイッチを提供し始めたことにより、年間の売り上げは前年度比約 115%と好調でした。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、2 月から店内で飲食する方が減少してイクアウトの利用が若干増えました。

④ みかん（自立訓練（生活訓練））

重点目標

利用者の様々なニーズにこたえられるように、個別支援に力を入れていきます。そのためにもひとりひとりと話をする時間を積極的に取り入れ、個人にあったプログラム内容を一緒に模索していきます。

振り返り

今年度は、就労継続支援 A 型へ 1 名、就労移行支援へ 1 名、就労継続支援 B 型へ 3 名の方がそれぞれ移行していかれました。さまざまな障害特性、背景のある方が、2 年という限られた期間での利用をされる事業ということで、事業所の雰囲気も日々変わっていく中、みなさんのやりたいこと、関心のあることを中心にプログラムを進めながら、支援の在り方について模索した 1 年だったと振り返ります。今後は、少人数の良さを生かしながら、対話を大切に、個別支援により力を入れていきます。

2) 行事等

4月	掛川城へ出かけよう「大人のワークショップ in 竹の丸」、もくもくで歌って遊ぼう!!の会
5月	日帰り旅行、ふれあいコンサート
6月	らぶはまキター、合同スポーツ大会、出張 SSP(企業見学)、美術館に出かけよう
7月	プチイベント(七夕)、歯科検診、出張 SSP(合同企業説明会)、保護者会、カラオケ大会
8月	大掃除&暑気払い、ダダ納涼祭、出張 SSP(企業見学)、美術館に出かけよう、お出かけレク
9月	日本ロック鉄板焼き大会、まつぼっくりまつり、出張 SSP、奏内覧会に行こう
10月	ふれあいスポーツレクリエーション大会、収穫祭、プチイベント(ハロウィン)、浜北 294 草刈り隊、避難訓練(地震)
11月	元気ライブ、浜北 294 草刈り隊、出張 SSP (企業見学、職場見学会)、イエローシートキャンペーン、みかん地活合同カラオケ大会、けやき祭バザーに参加しよう
12月	地域防災、さつきおしるこ会、みどりの樹クリスマス会、大掃除&忘年会、障害者週間啓発運動、みんなで食事をしよう、みかんクリスマス会
1月	初詣&書初め、イエローシートキャンペーン、照個屋、育成会成人式、凧作り・凧あげ・餅つき大会
2月	バレンタイン、プチイベント(節分)、避難訓練(風水害)、カラオケ&お菓子作り、オープンアトリ参加
3月	焼きそばとお楽しみデザートを作って食べよう、みかん卒業式、カラオケ大会

3) 生産活動

① 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	18,263,042 円	15,000,000 円	121.8%
喫茶事業	5,511,142 円	4,800,000 円	114.8%
ライム下請事業	4,794,497 円	5,200,000 円	96.1%
その他	202,917 円	—	
合計	28,771,598 円	25,000,000 円	115.1%

② 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援		自立訓練（生活訓練）	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
元年度	7,828,909	22,464	669,741	20,295	262,378	2,704
30 年度	8,605,700	23,971	965,218	15,928	398,242	2,585

時給設定 ① 320 円 ② 270 円 ③ 170 円

ボーナス 夏季 5,000 円～1,000 円 冬季 10,000 円～3,000 円 決算 20,000 円～10,000 円

※作業従事率により金額決定

業務手当 調理場手当 1 日 200 円（調理場担当者、弁当箱洗い当番、集計係に支給）

皆勤手当 ①2,000 円/月 ②1,000 円/月

3 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			自立訓練（生活訓練）		
		延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比	延利用者数（人）	1 日平均利用者数（人）	稼働率（%）※定員比
4 月	22	41	1.9	31.0	531	24.1	120.7	146	6.6	66.4
5 月	21	41	1.9	32.5	502	23.9	119.5	159	7.6	75.7
6 月	21	40	1.9	31.7	501	23.9	119.2	128	6.1	60.9
7 月	23	40	1.7	28.9	565	24.6	122.8	149	6.5	64.8
8 月	20	57	2.9	47.5	450	22.5	112.5	101	5.1	50.5
9 月	21	38	1.8	30.2	467	22.2	112.0	102	4.9	48.6
10 月	23	37	1.6	26.8	530	23.0	115.2	133	5.8	57.8
11 月	22	55	2.5	41.7	499	22.7	113.4	147	6.7	66.8
12 月	23	76	3.3	55.1	507	22.0	110.2	149	6.5	64.8
1 月	21	57	2.7	45.2	459	21.9	109.3	126	6.0	60.0
2 月	20	62	3.1	51.7	403	20.1	100.7	126	6.3	63.0
3 月	22	75	3.4	56.8	437	19.9	99.3	123	5.6	55.9
合計	259	619	2.4	39.8	5851	22.6	113.0	1589	6.1	61.4

令和元年度 生活介護事業所ループ歩 事業報告

I 総括

さつきでは、予定通りに10月からのループ歩開所までの4月から9月までの半年間、利用定員の125%に近い人数を受け入れ、ループ歩の就労継続B型と生活介護に合わせて10名が本人や家族の希望で移られた為、月毎の平均利用人数が前半と後半で大きな差が出ていますが年間で見るとおよそ予定通りの結果となりました。

まつぼっくりでは、前年に引き続き指定寄付をいただき、建設から25年以上が経過し劣化した外壁や屋根の修繕や屋内の洗面台やトイレ、作業室内の水回り等を利用者にとって使いやすくする為の修繕を行いました。また、職員体制の面では新主任をはじめとする新しい体制でスタートしましたが、9月の法人内異動により常勤3人の内、2人がまつぼっくり1年目という状況になり、利用者への影響を心配しましたが家族とより密に連絡を取り合いながら乗りきることができました。

両方に関係することとして、食品表示法改正に伴い、R2年4月からパンや焼き菓子に貼るラベルの記載内容を変更する必要となった為、取引業者から専門的な部分の支援を得ながら対応しました。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

① さつき

重点目標

- ・個々の行動特性を再確認し、本人に合った支援方法の見直しを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・作業に関して利用者の可能性を広げる為に本人の意思を確認しながら新しいチャレンジを積極的に行います。
- ・職員一人一人が事故や怪我を未然に防ぐための環境整備・必要な声掛け等を常に意識して行動します。
- ・地域の方々に今以上にさつきのことを知ってもらう為に販売・ポスティング・清掃活動に力を入れます。
- ・楽しく過ごす時間として定着したレクの時間の更なる充実を図ります。

振り返り

本人に合った支援方法については、職員会議で議論を重ね、パート職員も含めた職員全体で統一した支援を行いました。

支援を行うにあたり、環境整備にも注力していましたが、利用者の突発的な行動を予測しきれずに起きた事故もあったため、次年度以降もその部分をいかに減らしていけるか課題として取り組んでいきます。

作業については、特にループ歩開所後に利用者人数が減って以降、状況にゆとりがいかれたこともあってか、作業に集中することが難しい方も、意欲を見せてくれる機会も増え、はたらいっている実感を得ることは大切であることを改めて認識することができました。また、清掃活動やおしるこ会に向けたポスティング活動を通して、地域の方々に声をかけていただき、利用者にとっても楽しみな活動となり、おしるこ会にも近隣の方が多数遊びに来ていただきました。

レクリエーションの時間は、多くの利用者にとって作業が終わった後の楽しみな時間となっており、ボーリングや読み聞かせ等の人気メニューや季節の行事に合わせた創作活動に加えて、好きな曲を演奏してくれるボランティアさんに来ていただくことが定着しました。

②まつぼっくり

重点目標

- ・利用者の発信を受け止める姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努め、コミュニケーション保障と情報保障を守ります。
- ・作業面・生活面共に日々振り返りを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・余暇活動やレクリエーション活動を通し家族やまつぼっくり以外とのつながり作りや将来の生活への具体的なイメージにつながる活動をしていきます。
- ・利用者の増加やニーズの多様化に向けて、作業内容も選択の幅が広げられるように工夫します。

振り返り

4月からまつぼっくりに異動になった職員が1年間手話奉仕員養成講座に通うことで手話の基本的技術と知識を身につけ、聴覚障がいに対する意識を高めることができました。また、年度途中にさらに職員異動があった為、いつも以上に利用者についての情報共有を丁寧に行い、日々の振り返りでは統一した支援ができるように話し合いの時間を多く持ちました。

作業面については、アクセサリ制作の継続はできませんでしたが、天竜高校購買部での販売が新たに加わったことで全体の売上はアップしました。ただ、利用者が増えたことに伴う工賃やパート給与の支払い増加や材料費の値上げ等の経費はそれ以上に増えたため、就労に係る収支をどう維持するかが次年度の課題となります。

余暇活動では、四季折々の行事に合わせた調理実習や創作活動を行って、利用者と職員と一緒に楽しい時間を過ごすことができましたが、まつぼっくり以外とのつながりや将来につながるイメージ作りには行き届かない部分がありました。

2 行事等

4月	メーデーフェスタ(ま) 静岡県手話通訳問題研究会総会販売(ま) お花見(さ) 保護者会(さ・ま) 掛川花鳥園組とうなぎパイ工場組(さ)
5月	ふれあいコンサート(さ・ま) イエローシートキャンペーン(ま・さ) 調理実習(ま)
6月	日体祭(ま) 浜北合同スポーツ(さ・ま) 日帰り旅行(ま) 静岡県ろうあ者大会販売(ま) 電車の旅(さ)
7月	友愛の里まつり(さ・ま) ヤマハ発動機浜北工場夏祭り(さ・ま) ヤマハ豊岡工場夏祭り(ま) プールレク(さ) イエローシートキャンペーン(さ) 調理実習(ま)
8月	浜名梱包夏祭り(ま) 大掃除・お疲れ様会(ま) お疲れ様会(さ) プールレク(さ)
9月	まつぼっくりまつり(さ・ま) 調理実習(ま) 奏内覧会・もくもくミュージアム(ま) 焼肉食べ放題(さ)
10月	ライム収穫祭(さ・ま) 労福協まつり(さ・ま) 天竜特支文化祭(ま) 厚生会まつり(さ) わ西部地区ふれあいレクリエーション(さ・ま)
11月	視覚特支文化祭(ま) ヤマハチャリティミュージカル(さ・ま) 元気ライブ(さ) あらたま協働センター祭り(ま) 中瀬協働センター祭り(さ) 調理実習(ま)
12月	地域防災訓練(さ・ま) みどりの樹クリスマス会(さ・ま) わ本人研修会(ま) さつきおしるこ会(さ) 大掃除・お疲れさま会(ま) お疲れ様会(さ)
1月	初詣(さ・ま) ふれあいフェスティバル(ま) 調理実習(ま) ファーマーズ浜北祭(さ)
2月	節分(さ・ま) 手話のつどい販売(ま) 避難訓練(ま) 照個室(さ)
3月	調理実習(ま)

3 生産活動

① 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
さつき (下請)	1,489,052 円	1,190,000 円	125.1%
さつき (クッキー)	1,293,115 円	1,200,000 円	107.7%
まつぼっくり (パン・クッキー)	5,899,925 円	4,600,000 円	128.2%
まつぼっくり (いす足カバー)	12,000 円	10,000 円	120.0%
合計	8,694,092 円	7,000,000 円	124.2%

② 工賃支払実績

	さつき		まつぼっくり	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
R1 年度	924,100 円	3,829 円	2,661,517 円	16,483 円
30 年度	1,060,600 円	3,982 円	1,984,278 円	16,228 円

Ⅲ 利用者状況

事業	稼働日	さつき			まつぼっくり			ループ歩 計		
		延利用者数	1日平均	稼働率 (%)	延利用者数	1日平均	稼働率 (%)	延利用者数	1日平均	稼働率 (%)
4月	22	488	22.1	122.7%	227	10.3	85.8%	715	32.5	108.3%
5月	21	463	22.0	122.2%	203	9.6	80.0%	666	31.7	105.6%
6月	22	479	21.7	120.5%	224	10.1	84.1%	703	31.9	106.3%
7月	23	517	22.4	124.4%	234	10.1	84.1%	751	32.6	108.6%
8月	19	419	22.0	122.2%	191	10.0	83.3%	610	32.1	107.0%
9月	22	473	21.5	119.4%	249	11.3	94.1%	576	27.4	91.3%
10月	23	316	13.7	76.1%	261	11.3	94.1%	654	28.4	94.6%
11月	22	314	14.2	78.8%	253	11.5	95.8%	665	30.2	100.6%
12月	23	327	14.2	78.8%	256	11.1	95.8%	613	29.2	97.3%
1月	21	287	13.6	75.5%	242	11.5	95.8%	619	30.9	103.0%
2月	20	269	13.4	74.4%	230	11.5	95.8%	596	29.8	99.3%
3月	21	301	14.3	79.4%	235	11.1	90.0%	683	31.0	103.3%
合計	259	4653	17.9	99.4%	2805	10.8	90.0%	7573	29.2	97.3%

令和元年度 多機能事業所ループ奏 事業報告

I 総括

今年度は、9月までの準備期間を経て10月1日に予定通り開所しました。準備期間中、法人として年度当初にお話をいただいた天竜高校購買での販売を開所後の奏の仕事として考えていくことを視野に入れて、所属職員中心に法人内他事業所の製品の販売を行いました。今後も利用者の仕事として交代で経験を重ね、継続して担っていく予定です。

利用者数は両事業とも5人という計画通りに推移し、9月に実施した内覧会や10月から12月にかけて特別支援学校の実習を経た方も含めて、R2年度4月1日時点で就労継続B型の登録者数が6名増えて11名、生活介護が3名増えて9名となっています。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

① るるる（生活介護）

重点目標

- ・職員一人一人が事故や怪我を未然に防ぐことを常に意識して行動します。
- ・地域の方々に事業所のことを知ってもらうために、こちらから外に出ていく活動内容を考えます。
- ・基本的な1日の流れの中に働く時間と楽しく時間の両方を取り入れます。

振り返り

10月の開所時点ではさつきから移った利用者のみでスタートし、環境の変化により利用者が不安定になることも予測されましたが、半年間で大きな事故やけがもなく過ごすことができました。活動の内容としては、作業とレクリエーションを組み合わせることで働く時間と楽しむ時間を提供するという1日の流れで進めることはできましたが、少人数ながらも行動を促すために個別の支援が必要な方が多く、その支援方法も手探り状態のため、次年度は半年間の様子も踏まえて全体の流れには乗らない利用者への支援の在り方を課題として取り組みます。

地域とのつながり作りに関しては取り組むことができなかったため、散歩中のごみ拾いや地域での活動に積極的に参加していきます。その一環として地区の自治会長の方から伺ったR2年10月に近くの北浜南小学校で開催予定の地区全体の防災訓練に参画予定です。

② ららら（就労継続支援B型）

重点目標

- ・自分のペースで安心して作業できる環境を提供します。
- ・生活面のスキルアップややりたいことに取り組む時間も設けます。
- ・季節を感じられる行事も大切にして活動に取り入れます。

振り返り

10月の開所時点ではライムとさつきから移った利用者のみでスタートしましたが、年度途中で就労に向けたステップアップを目指している方が入り、数か月の利用を経て就労継続A型に移られました。今回のケースを一つのモデルとして、次年度以

降もステップアップを目指す方とらららでがんばってはたらく方と大きく2つの利用目的があることを想定していきます。

作業は自動車部品の組み立てやバリ取り等、ライムやさつきの取引先や新規の企業も含めて作業量を確保しました。天竜高校購買部での販売を仕事として受けたことにより、就労収入は予算よりも大きく増える結果となりました。今年度は、各事業所の製品受け渡しやキャッシュフロー、自動販売機を含む飲み物の発注など、オペレーションを確立することはできましたが、職員が担う部分が大きく利用者の仕事としては経験する所までしか到達することができませんでした。次年度以降は、本人の希望を取り入れながら販売員としての仕事を担えるように工夫していきます。

生活面のスキルアップのために取り組んだ、朝と帰りに担当を振り分けて行う清掃は定着させることができました。自身のやりたいことを言葉で伝える時間として定期的にミーティングの時間を設けました。実現できる意見は実行に移し、みんなで楽しむことができました。次年度以降は生活面のスキルアップについてより個別に必要な支援に取り組みたいと考えています。

2 行事等

10月	わ西部地区ふれあいレクリエーション大会 ライム収穫祭
11月	浜北ふれあい広場 ヤマハチャリティーミュージカル
12月	みどりの樹クリスマス会 さつきおしるこ会 お疲れ様会
1月	初詣・外食
2月	照個屋
3月	カラオケ・ランチ作り

3 生産活動

① 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,057,713 円	550,000 円	192.3%
天竜高校	1,426,448 円	0	-
合計	2,484,161 円	550,000 円	444.8%

② 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
R1 年度	317,270 円	10,916 円	139,489 円	2,224 円
30 年度	-	-	-	-

Ⅲ 利用者状況

事業	稼働日	ららら (定員 10)			るるる (定員 10)			ループ奏 計 (定員 20)		
		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 (%) ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 (%) ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 (%) ※定員比
10月	23	112	4.9	49%	137	6.0	60%	249	10.9	54.5%
11月	22	112	5.1	51%	123	5.6	56%	235	10.7	53.5%
12月	23	111	4.8	48%	133	5.8	58%	244	10.6	53.0%
1月	21	92	4.4	44%	130	6.2	62%	222	10.6	53.0%
2月	20	81	4.1	41%	124	6.2	62%	205	10.3	51.5%
3月	22	86	3.9	39%	133	6.0	60%	219	9.9	49.5%
合計	131	594	4.6	46%	780	5.9	59%	1374	10.5	52.5%

令和元年度 放課後等ディサービス あざみ 事業報告書

I 総括

令和元年度も指標該当以外の報酬区分2となり、職員が節約を心掛けながらも、利用者にはプラスになる支援を目指し活動しました。高校生から小学生が同じ空間で、安全に生活するためには環境設定と見守りが十分に行わなければならない、サービス提供時には、常に見守りの必要な利用者対応も含め、利用者2～2.5人に対して支援者1名を配置しました。登録者数15名のうち週5日利用の利用者は12名、週3～4日利用の利用者は3名で、ほぼ毎日10名以上の利用がありました。

新規利用希望の相談もいただきますが、令和2年度は本年度卒業生1名の枠が空くので1名の新規利用が決まっています。令和3年度も同様な動きになると予想しています。また3月より新型コロナウイルス感染予防のため緊急事態宣言が出され学校が休校措置となり、行政の指示に沿い開所しています。

9月に法人内の職員異動があり、あざみ主任が替わりました。新たな体制作り、連携を図りました。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

重点目標

- ・活動プログラムの充実 外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶ事の楽しさを味わいながら、ルールの理解も、できるように工夫していきます。
- ・子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組むことができるように、多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう取り組んでいきます。
- ・日常生活の基本動作の習得においては、家庭、学校との情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討、習得がゆっくと、できるように支援していきます。

振り返り

- ・外遊びのグループ活動を増やす事は、年齢による行動の違いに考慮した活動、感覚過敏の子の反応に対応する環境設定とも結びつきました。また、はまきた地活合同の企画をし、風船バレーや水てっぽう大会、焼き芋、かき氷作りなど、あざみだけではできない経験もさせていただきました。
- ・活動の中で、個別活動と2～3人でのグループ活動を個々に組み合わせるようになっていこう心がけましたが、個別で活動した方が安定につながる方には、室内で折り紙や絵画製作などを提供しました。また不穏時対策として、落ち着く事ができる場所の確保しておきました。
- ・自分の思いが通らずトラブルが発生する事が多く、支援者が介入し落ち着いた場所で、思いを聞いていこうにしました。支援に困ったときは、支援者会議等で、利用者同士の相性や反応を共有することにして、調整・安定を図りました。
- ・基本動作の習得については、低学年児童の排泄、食事について重点を置き、できた事を認めて、がんばろうとする気持ち、やってみようとする気持ちを大切にしよう心がけました。次年度も新1年生の利用者が増えるので、基本動作習得のための支援は継続したいと思います。また以前より手洗いが嫌いな子が多く、指先を少し濡らすだけの子もいるため、新型コロナウイルスや他の感染症予防のためにも、今後は石鹸で手を洗えるように支援が必要だと思います。

2 行事等

	行事	創作
4月	始まりの会 イエローシート贈呈式	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	こいのぼり 母の日プレゼント
6月		壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり 流しそうめん	七夕飾り
8月	外食・外出体験 (科学館、ウォットハウス食品工場 宮口駄菓子屋さん)	みどりの樹ミュージアム展示作品
9月	まつぼっくりまつり	
10月	収穫祭 ハロウィン	ハロウィン衣装 お面
11月	おしるこ会 ミニ運動会	壁面飾り もみじ
12月	親と子のクリスマス会 焼き芋	クリスマス飾り
1月	地活合同誕生会	壁面飾り 鬼
2月	豆まき 照個屋	ひな祭り顔はめパネル ひな人形
3月	ひな祭り 卒業生を送る会 頑張りましたの会	壁面飾り さくら
毎月	誕生会 避難訓練	

Ⅲ 利用者状況

1 月別利用者数 (定員 10 名 登録者 21 名)

あざみ(定員 10)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	27	25	27	24	25	26	26	24	23	24	26	303
延利用者数(実績)	271	269	251	297	249	248	266	266	269	260	259	268	3173
1日平均利用者数	10.4	10.0	10.0	11.0	10.4	9.9	10.2	10.2	11.2	11.3	10.8	10.3	10.5
稼働率(%)	104.2	99.6	100.4	110.0	103.8	99.2	102.3	102.3	112.1	113.0	107.9	103.1	104.7

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	42	50	49	49	49	64	303
年間利用者延人(人)	455	528	610	568	531	481	3,173
平均利用者数(人)	10.8	10.6	12.4	11.6	10.8	7.5	10.5

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	2名	1名
小学4年～6年	1名	1名
中学生	6名	1名
高校生	3名	0名

令和元年度 浜松市地域支援事業(日中一時支援) 事業報告

I 総括

併設の放課後等デイサービスあざみと可能な範囲で一体的に勝つ小津を行いながら、日中一時支援事業としての支援を行いました。

特に他の放課後等デイサービス事業所を利用されている方はあるば環境に慣れていないため、個別の見守り支援を行い安定と安全に注力し支援にあたりました。

様々な理由で利用されていますが、今後も地域の放課後支援の状況から、このような利用をされる方が続くと予想されます。どのような理由であろうと利用していただく限りは、基本的な生生活動作の習得のための支援、安定した環境設定の中での遊びの支援、他者との関わりの楽しさを体験していただくための支援は、子どもの成長に欠かせないものであり、今後も続けて行きたいと思っています。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

重点目標

- ・外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶことの楽しさを味わいながら、ルールを理解も、できるように工夫していきます。
- ・子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組むことができるように多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で活動できるように取り組んでいきます。
- ・日常生活の基本的な生生活動作の習得については、家庭、学校と情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討し、習得がゆっくりとできるように支援していきます。

振り返り

- ・散歩や鬼ごっこ、風船バレーなど体を使った遊びを通し、仲間と楽しく過ごすこと、そのためのルールが理解できるように支援者が関わり活動を進めましたが、自分が中心でいたい、支援者やボール等を独り占めしたいという気持ちが出てしまい、支援者の努力や伝える方法が今後の課題となっています。
- ・集団が苦手（他者の大声、泣き声に敏感に反応してしまうなど）な利用者には、落ち着いて過ごす事ができるように、個別対応を基本として、刺激が少ない環境の提供として、園庭での散策、不安定になった時のスペースの確保を常にしておきました。
- ・基本的な生生活動作の習得については排泄、手洗い、食事について重点を置き、一人ひとりの状況に合わせ、1日の生活の流れや活動と組み合わせ言葉掛けをしていきました。排泄指導は無理強いをしない事を支援者が共有し、ゆったりと関わる事をこころがけましたが、排泄間隔がつかめない事もあり今後も重点目標にしたいと思います。
手洗いについては、水に触れる事が苦手な利用者が多く、特に2月末からの新型コロナウイルス感染もあり今後も、重点的に取り組んでいきたいと思います。

Ⅲ 利用者状況

① 月別利用者数 (定員7名 登録者数20名)

(定員7)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	27	25	27	24	25	26	26	24	23	24	26	303
延利用者数	98	86	101	97	75	84	87	99	82	71	82	88	1,050
1日平均	3.8	3.2	4.0	3.6	3.1	3.4	3.3	3.8	3.4	3.1	3.4	3.4	3.5
稼働率 (%)	53.8	45.5	57.7	51.3	44.6	48.0	47.8	54.4	48.8	44.1	48.8	48.4	49.2

② サービス併用状況

1 あるばのみ利用	6名	週3日 固定した曜日に利用
2 あざみ・あるばを併用	3名	あざみを主に利用 支給日数を超えた日にあるばを利用
3 あざみ・あるば・他の放デイ事業所利用	2名	あざみ月～土 毎週日曜日に他の放デイを利用
4 他の放デイ事業所を主に利用	7名	他の事業所が利用できない日に利用(土、祝日)

令和元年度 はまきた地域活動支援センター 事業報告

I 総括

利用者一人一人への関心を深めた一方で、ボランティアとの関わりなど地域とつながるための活動にあまり力を注げませんでした。しかし定期的に継続してお付き合いくださるボランティアとの出会いもあり、細く長く継続させていく活動の大切さを見出すことができました。また、地域向けの事業に多くの地活利用者が参加しており、「地活として地域の様々な事業に参加する」ことで地域とつながる、というあり方も見出しました。

年長者向けの活動は、相談支援事業所から持ち込まれたニーズに対応することで始まり、その方々の楽しみを増やし、外出する機会を増やすという効果が見られました。相談支援とのつながりを大切にし、地域のニーズに地活の機能が対応できないか、一緒に考え取り組めた結果と考えます。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

重点目標

- ・「ひとりひとり」がよりイキイキと快適に過ごせる「はまきた地活」であるために
- ・年長者に向けた定期的な活動

振り返り

「仲間づくり」を地活の中心活動としながらも、「ひとりひとり」に向き合うことにも注力しました。1対1で対話する時間を設けたり（つぶやきカフェ）、少人数で対話しあう時間を多くしたり、活動性が低くなりがちな年長者の方々に特別にはたらきかける機会をつくる（青春倶楽部、昼下がりのいっぽくなど）等、柔軟に日々のスケジュールが作れる事業特性を生かし、工夫することで「一人一人のおもいを汲み取る」活動を作り出しました。

2 具体的支援内容

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
音楽の日 ピアノと歌おう 凧作り 等	地活ミーティング いっぽく 卓球・ゲーム会 カラオケ 等	昼下がりのいっぽく パソコン教室 はじめのいっぽく つぶやきカフェ お昼づくり 身体を動かそう 等	相談支援事業所 タイアップで青春倶楽部 (外出・カラオケ等) ケア会議参加 あざみの子供たちと 誕生会	朗読カフェ 昼下がりのいっぽく 精神保健ボラ養成 講座受け入れ メイクボランティア 照個屋	イエローシート キャンペーン 大学・看護学校 レクチャー
外出・イベント 等	4月 おでかけ（姫様道中） 5月 おでかけ（スズキ歴史館とカフェランチ） 6月 お食事会 7月 おでかけ（竜ヶ岩洞） 8月 食事会 9月 ライム収穫祭		10月 ボーリング 11月 ミステリーツアー 12月 もち投げ参加 1月 餅つき大会 2月 いちご狩り 食事会 照個屋参加 3月 桜を見る会		

Ⅲ 利用状況

月別延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	247	247	249	277	272	236	265	225	206	216	248	103
磐田市	12	0	2	1	1	6	2	0	0	0	4	7
合計	259	247	251	278	273	242	267	225	206	216	252	110
1日平均												

令和元年度 浜松市障害者相談支援事業所ほたる 事業報告

I 総括

浜松市障害者相談支援事業が、令和 2 年度から再編されることになり、当法人として今後の委託相談業務をどう担い続けていくか、また再編に向けてどう準備を進めていくか、相談業務そのものと同時進行で考えていく 1 年でした。結果、社会福祉法人天竜厚生会さんと共同企業体という形で、浜北区、天竜区の 2 区をひとつのエリアとして担っていくことが決まりました。旧浜北市の時代から浜北という地域に根差した活動を目指してきて、またルートにある家族会は現天竜区もエリアとした家族会であるため、みどりの樹としてはこのエリアに使命感をもって取り組んでいます。

天竜厚生会は、知的障がい・身体障がいの支援を強みとして持っている中では、みどりの樹として特に精神障がいの支援について、力を発揮していくことが求められていると考えています。

特定相談と一体的に相談業務にあっていたことが、今後は役割を特化し広く地域のニーズに対応していくことが求められます。そのことを意識し、委託相談と計画相談の役割を改めて整理しながら再編を迎える準備の 1 年でありました。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

重点目標

- ・利用者との対話関係を大切に、常に利用者から学びを得る姿勢を忘れないようにします。
- ・事業所の枠を超えて、みんなが協力して支援を行うための関係づくりを積極的にしていきます。
- ・以上を行うために、必要な専門性を身につけるために自己研さんに励みます。
- ・32 年度事業所再編されるにあたって、滞りなくケースの引き継ぎができるように準備をすすめます。

振り返り

- ・面談実施時や電話の応対など利用者が安心できるような声掛けや内容に気を付けてまいりました。本人のことやその障がいについては当人にしか分からないことや知りえないこともあるため本人の言葉を受け止めるよう努めてまいりました。
- ・医療機関への問い合わせや訪問看護との情報共有、福祉サービス事業所への同行訪問などそのケースに関わっている機関へのアプローチを意図的に行ってまいりました。
- ・基幹相談支援センター企画の階層別研修に参加することで相談支援に必要なスキルへの学びやスキルアップが図れました。
- ・個別のケースファイルの充実を図るとともに相談支援センター内の担当へのケース説明・同行訪問などを行い相談者が困らないようケースの引き継ぎや準備を進めてまいりました。

2 支援方法

訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別ケア 会議	関係 機関	その他	合計
122	136	156	572	42	12	459	8	1,507

3 相談内容等

相談内容	件数	相談内容	件数
① 福祉サービスの利用に関する支援	358	⑧ 家計、経済に関する支援	20
② 社会資源の活用に関する支援	79	⑨ 生活技術に関する支援	2
③ 障害や病状の理解に関する支援	0	⑩ 就労に関する支援	270
④ 健康・医療に関する支援	184	⑪ 社会参加に関する支援	2
⑤ 不安の解消・情緒安定に関する支援	350	⑫ 余暇活動に関する支援	2
⑥ 保育・教育に関する支援	0	⑬ 権利擁護に関する支援	11
⑦ 家族関係・人間関係に関する支援	30	⑭ その他福祉に関する支援	199
		合 計	1,507

4 定例会議

障害者相談支援事業所連絡会	12 回
浜北区自立支援連絡会事務局会議	12 回

Ⅲ 利用者状況

実相談人数 (うち 30 年度新規受付人数)	85 人 (12 人)
---------------------------	-----------------

障害別	延人数	障害別	延人数
重度心身障害	0	知+精	46
身体障害	41	身+精	4
知的障害	423	3 障害	67
精神障害	806	高次脳	0
難病	0	発達	69
身+知	0	不明	51
		計	1507

年齢別	延人数
高等学校	5
成人前期（*）	607
成人後期（*）	821
高齢者	43
不明	31
計	1507

* 成人前期：18 歳～39 歳 成人後期：40 歳～64 歳

浜松市委託相談支援の実績報告マニュアルに基づいて集計

令和元年度 特定相談支援事業所 ぼるた 事業報告

I 総括

今年度の大きな動きとして令和 2 年度からの委託相談の再編への対応の年でもありました。委託相談と計画相談を一体的に行ってきた中で今後は計画相談のみになることから相談の受け方の変化と相談への対応の変化が考えられ検討をしてきた 1 年となりました。

計画相談として今年度は配属の相談支援専門員が 2 年目にあたることから関係性の構築からアセスメントやニーズへの対応の強化と関わりを変えた 1 年となりました。将来の展開に向けてのサービスの追加や変更などの提案を行い実施してまいりました。グループホームへの入居からの就労継続支援 A 型への変更や将来のグループホームへの入居に向けての体験利用、短期入所の利用などのサービス利用の追加や変更です。8050 問題にかかるケースも課題が表面化してきておりケアマネや包括支援センターとの情報共有やケア会議の開催など協同することも多くなってきました。新規利用者もコンスタントに増加しており、傾向としては就労がしたい、就労の訓練を行いたいとのことから就労継続支援 B 型や就労移行支援への繋げを行っています。新規相談としては就労事業所や医療機関からが多くなっています。新規相談の受け入れが困難となっていることから今後の課題として検討が必要であると考えられます。

II 支援内容

1 重点目標の振り返り

重点目標

- ・モバイルPCの導入など、ITも積極的に活用して、支援の質を落とさずにひとつひとつの業務の効率化を目指します。計画相談の仕組みに則った中で、ぼるたとして現状の実務をよりシステムチックに行えるよう進め方の基準を整理し、確立させていきます。
- ・長期にわたるかかわりの中では、当然、当初のアセスメントから内容が変化していくことがあります。本人のニーズを正確に把握し続け、それに基づいたかかわりを継続していくために、随時アセスメントのメンテナンスを行っていくことを心がけます。
- ・顔の見える関係づくりを意識して、従来の関係機関だけでなく介護保険サービスや民生委員をはじめとした地域とのつながりをより強固にしていけるようにします。

振り返り

- ・法人内他事業所で所有していたモバイルPCを利用し、業務の効率化を試みました。ただ、専用システムをモバイルPCで操作できないなど、イメージ通りの効率化までは至りませんでした。次年度以降相談支援専門員も増員を想定していく中では、実務をイメージしてハードの導入を視野に入れ効率化を実現していきます。
- ・モニタリング実施時に法人内事業所へも声をかけ、事業所職員も訪問等に同行するなど、利用者の家庭環境の把握や課題の検討等を協働することができました。
- ・ケースを通して民生委員との情報共有やケア会議の実施を行うことができました。また、8050問題など、介護保険を利用する親と障害を持つ子供のケースにおいてケアマネや包括支援センターの職員との協同やケア会議の開催も行うことができました。

2 具体的支援内容

① 実施人数

100人（※参考 30年度実績：99人、29年度実績：90人、28年度実績：104人）

② おもな計画内容

利用事業	令和元年度(人)	30年度(人)
就労継続支援 A 型	12	11
就労継続支援 B 型	34	30
就労移行支援	3	6
自立訓練（生活訓練）	4	7
生活介護	20	13
施設入所支援	1	0
短期入所	36	31
居宅介護	24	21
グループホーム(体験利用)	2	1
利用契約のみ	0	0
計	141	120

※実施人数と、計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため。

③ 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	0	0	1	1	1	1	1	2	2	1	0	0	10
モニタリング数	30	20	25	16	24	16	16	17	27	19	9	20	239
更新	7	1	6	9	7	4	12	7	65	7	7	7	79

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし